



80回目 市従労旗開き

昨年の元旦に発生した「能登半島地震」は非常に大きな傷痕を残し、多くの犠牲と被害を与え、その後に追い打ちを掛ける「奥能登豪雨災害」が襲い掛かり、身も心も絶望の底へ……復興作業等も遅れ、災害関連死も含め死者504人(2025/1/1現在)。

それでも2025年の幕は開け、早くも1ヶ月が過ぎました。

昨年から1月末までの期間で、能登半島地震に始まり、奥能登豪雨を含めての各避難所ごみ回収支援等に御尽力を頂いた組合員の皆さまの全力支援対応に、心より感謝を申し上げます。

金沢市従労は1月11日(土曜)に『2025年団結旗開き』を金沢ニューグランドホテル(5階「銀扇」)にて開催し、宮鍋 正志自治労石川県本部委員長、黒口 敬一郎金沢市議会議員、野村 昇司自治労石川県本部退職者連絡会会長等をお迎えして、肅々と開催を致しました。

先に行われました『金沢市従労退職者会幹事会』では、市従退職者会を含む退職者連絡会とも現退一致の取り組みも確認し、来る7月の参議院議員選挙で「岸 まきこ さん」の“必勝”に向けての各種取り組みも動き出したことにも触れました。

現在における閉塞的な「退職不補充方針」に対しては、国の制度、地方財源に物申す政治力を獲得するしかありません。組合員の結束を改めてお願いを申し上げます。

今年は『昭和100年』。どんな出来事も数えやすいのが今年でありまして、昭和20年終戦後の混乱期に旗揚げされた金沢市従労も「80回目」の旗開きとなりました。

賃金・労働条件に対する、あらゆる要求を“堂々と訴えることができる”、このように素晴らしい組織を脈々と繋いで下さった諸先輩方に、改めて敬意を表するとともに、次世代に繋いでいく決意を表し、歴史に恥じない行動に変えていきたいと思ひます。

今年一年が皆様にとって、組合員にとって、今年こそ良い一年となりますことを祈念申し上げ、金沢市従を代表しての挨拶とさせていただきます。

これからも、どうぞ宜しくお願い致します。



金沢市従業員労働組合 執行委員長 **松本 由紀夫**

2013年(平成25年)退職者全員「再任用職採用」の提案 ⇒ 『退職者不補充』を受入れ = “民間委託化加速”

重要 Point ~金沢市従労は今年で80回目の記念すべき特別な年!!~



行き過ぎた人員削減で「災害対応」&「被災地支援」の受援体制に課題!!
~被災された方々が1日でも早く明るい未来が開けますように~



組合員数減少は「深刻」かつ『将来への不安』へと繋がりが兼ねません。今こそ更なる“団結力”が試される時

